

広 報

かわち

— 人口と世帯 —

人口	12月1日現在	11,504(- 4)
男		5,702(- 2)
女		5,802(- 2)
世帯		2,702(+ 2)
		()内は前月比



生板幼稚園のリズム発表会から(12月7日)

翌年のカレンダーが手に入ると、連休はどんな具合かなと、めくって見るのが楽しみなものです。

このカレンダー、いつたい何部くらい出回っているかというところ、およそ三徳部と推定されています。一人当たり三部近いのですから、大変な数です。

最近、友引などの六曜は入っていないものが多くなりましたが、大安だけは入っています。アンケートで、大安を入れてほしいと言う若い女性が多かったのだそうです。

カレンダー



12

No.213

昭和61年12月15日 発行

■編集発行

河内村役場企画広報課

〒300-13 都教都河内村大字海清田183

☎0297(84)2111(代表)

びを広くアピール

村のイメージアップ方法一

先月の「広報かわち」十一月号で、村が行った住民意識調査の調査結果のあらましを紹介しました。今月号では、十一月号で紹介しきれなかった分——地域社会づくり、行政施策の進め方や住民参加、高齢化社会対策など——について、引き続き調査結果のあらましを紹介します。なお、回答者数は、六百三十八人です。

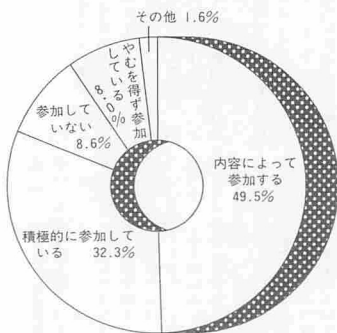
集落内の寄り合いへの参加は

集落内で行われる寄り合いや行事に参加しているかどうかについては、「内容によって参加する」が四九・五％でトップ、次いで、「積極的に参加する」の三二・三％と八一・八％の人が参加している。しかし、その内容を見ると「内容によって参加」、「やむを得ず参加」と答えています。

○・五％は「参加していない」という答えは、二十代・三十代に多く、特に、二十代の三〇・五％は「参加していない」に見えます。

また、「参加していない」が半数以上であり、職業の違いや生活の変化によって寄り合い、行事への参加が影響されているよう

あなたは、集落内の寄り合いや行事に参加していますか



地域内での日ごろの活動は

	現在している	やりたいが機会がない	施設がない	やりたいが指導者がいない	するつもりがない
音楽・読書など趣味の活動への参加	6.4	35.4	6.9	5.8	26.3
スポーツサークル活動への参加	9.6	35.0	5.2	4.2	25.1
ボランティア活動への参加	5.0	28.5	2.5	5.6	35.4
子供会・婦人会・老人会などへの参加	32.3	25.2	0.8	1.9	24.3

※その他の意見・未回答については除きました。

地域内での日ごろの活動は

地域内での日ごろの活動について、それぞれ伺いました。音楽・読書など趣味の活動への参加とスポーツサークル活動への参加の二項目については、だいたい似たような意見で、四人に一人が「するつもりがない」と答えています。多くは参加の意思を表しています。

しかし、「現在している」と答える人は一〇％以下で、「やりたいが機会がない」がそれぞれ三五％、「やりたいが施設がない」、「やりたいが指導者がいない」が四％から六％となっています。

ボランティア活動については、ボランティアの意識がまだ低いのか、「するつもりがない」が三五・四％となっています。また、「やりたいが機会がない」も二八・五％ありました。

婦人会、老人会などへの参加については、「現在している」が三二・三％でトップでした。

これらを総合してみると、機会や施設などに恵まれば、地域内での活動は活発に行われそうです。その機会や施設をどうするかが今後の課題のようです。

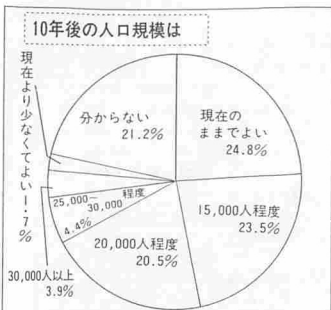
収穫の喜

— 農家・農

十年後の人口規模と 農家のアピールは

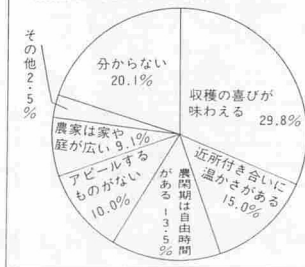
十年後の人口規模

現在の河内村の人口は一万一千五百八人（十一月一日現在）です。十年後、この村の人口規模はどのくらいが適当か伺いました。



多い順に、「現在のままでよい」が二四・八%、「一万五千人程度」二・三・五%、「二万人程度（現在の倍）」二〇・五%、「二万五千から三万人程度」四・四%、「三万人以上」三・九%となっていました。

農村のアピールは



「農家や農村のイメージアップを図るには、どんなことをアピールしていけばよいか」の質問には、「収穫の喜びが味わえる」が二九・八%で

農家・農村のアピールは

これを見ると、人口は今のままか、増えても二倍までと多くの人が考えているようです。また、河内村の人口は、わずかずつですが毎年減り続けています。人口が、「現在より少なくてよい」と答えた人は一・七%にすぎませんでした。

村政の動き・行事の情報は

トップでした。続いて、「近所付き合いに温かさがある」一五・〇%、「農閑期は自由時間がたくさんある」一三・五%、「農家は家や庭が広い」九・一%となっています。その反面、「アピールするようなものはない」一〇・〇%、「分からない」二〇・一%といった意見も目立ちました。

村政の動きや行事などは、何によって知ることが多いのかを一つまで選んでもらいました。一番多かったのは、「広報かわち」で四百九十九人。次いで、「回覧」の三百十九人、「家族や知人、近所の人や職場の人の話」の二百四十五人、「集落内の会合」の六十七人、「議員や役場職員の話」五十一人と続きます。

これを見ると、村政の動きや行事の情報は、そのほとんどが広報紙や回覧であるようです。

村政の動きや行事は何によって知るか。

広報かわち	495人
回覧	319人
家族・知人・近所の人 職場の人の話	245人
集落の会合	67人
議員役場職員の話	52人
その他	98人



行政への住民参加については

行政への住民参加について、どのように考えているか二つ選んでもらいました。

その結果、「村長や議員との懇談会や対話集会があれば参加」二百十八人、「住民の自主的な集まりがあれば参加」二百五人、「公聴会があれば参加」百四十六人と積極的に参加を望む声が多くあります。

行政への住民参加についてどう考えるか

村長・議員との懇談会や対話集会があれば参加	218人
住民の自主的な集まりがあれば参加	205人
公聴会があれば参加	146人
関心がない	106人
一部の団体や個人に左右されがちなので参加したくない	97人
世論調査で十分	77人
議員や役場職員にまかせておけばよい	61人
わずらわしいので参加したくない	55人
陳情・請願により意見を述べる	42人
分からない	122人



老後の生活はどうあるべきか

高齢化社会対策は

近い将来、高齢化社会がくるといわれています。そこで、これからの老後生活は、どうあるべきだと考えているか三項目に分けて伺いました。

答えのトップは、「年金制度などの所得保障」で三百六十人。次いで、「生きがいをもちて働ける場所、機会の確保」(三百三十六人)、「健康相談や医療施設の充実」(三百七人)、「趣味、教養などの講座の充実」(二百二十六人)、「ホームヘルパーの派遣制度の充実」(百五十二人)と続いています。

幸せで生きがいのある老後のためには

その他	322人
老人センターの充実	82人
活動の活発化	126人
老人クラブなど地域制度の充実	152人
ホームヘルパー	26人
趣味、教養の講座	26人
健康相談、医療施設の充実	307人
働く場所、機会の確保	336人
年金制度などの所得保障	360人

また、幸せで生きがいのある老後を生きるためには、何

した生活像は、子供や孫といっしょに暮らし、年金など十分な社会保障を受けながら趣味など自分の好きなことをしたい、といったようなものでした。ただし、年を取っても、働ける間は仕事を続けたいという意見も四〇・六%ありました。

あなたの住んでいる地域の暮らしやすさは

住んでいる地域の暮らしやすさについて、それぞれ各項目ごとに尋ねました。中で、「不満である」「どちらかといえば不満である」という答えの割合の高いのは、高い順に「バスなどの交通機関」、「子供の遊び場」、「夜道などの防犯」、「河川の水質」となっています。

(%)

(1) 道路・交通

	満足している	どちらかといえば	ば満足している	普通である	どちらかといえば	ば不満である	不満である
ア. 身近な生活道路の整備については	13.2	8.3	40.4	16.3	18.7		
イ. バスなどの交通機関については	3.9	2.0	24.8	22.4	40.8		
ウ. 交通安全については	3.8	6.6	53.1	16.0	14.4		

(2) 公害

エ. 騒音・振動などの公害対策については	9.4	5.6	36.7	15.5	27.1		
オ. 悪臭などの公害対策については	8.3	6.3	44.0	15.4	18.5		
カ. 河川の水質については	3.4	3.0	32.1	21.8	33.7		

(3) 生活環境

キ. 上水道の整備については	15.0	8.6	42.2	10.2	14.9		
ク. 雨水のはけぐあいについては	9.4	5.5	39.3	13.3	25.9		
ケ. し尿処理については	8.3	4.2	45.8	13.0	20.5		
コ. ゴミ処理については	11.6	8.3	47.3	15.5	11.4		
サ. お住みになっている住宅については	18.0	13.5	45.5	9.4	6.6		
シ. 公園・子どもの遊び場については	3.9	2.0	28.1	23.7	33.4		
セ. 街路樹・生垣などの身近な緑については	15.7	9.4	51.7	7.1	7.5		
ス. 地震・災害時の避難場所や避難路については	6.0	4.5	38.4	18.0	23.7		
ソ. 夜道の安全さなど防犯については	5.0	3.9	28.4	26.6	29.9		

(4) 教育・文化・コミュニティ

タ. 小・中学校など教育施設については	13.8	11.9	57.4	5.3	3.8		
チ. 公民館や研修所など社会教育施設については	11.9	9.4	53.1	10.3	7.1		
ツ. 各地域の集会所については	9.7	9.1	50.9	11.8	10.3		
テ. スポーツ・レクリエーション施設については	9.4	6.6	48.1	14.6	11.8		
ト. 成人教養講座など教養を高める機会については	3.3	2.0	46.7	21.3	15.4		
ナ. 音楽やスポーツ・趣味のサークル活動については	3.6	3.1	50.6	18.2	12.9		

(5) 保健・医療・福祉

ニ. 住民検診など日常の保健活動については	14.7	11.8	55.8	7.2	3.6		
ヌ. 夜間・休日などの救急医療については	4.5	3.8	31.8	27.3	24.3		
ネ. 病院などの医療設備や医療水準については	3.9	4.1	32.8	26.5	24.3		
ノ. 保育所や幼稚園の整備については	11.3	9.6	57.5	8.3	4.9		
ハ. 老人福祉センターなどの利用施設については	9.4	6.4	53.6	15.0	6.1		
ヒ. ボランティア活動などの参加の機会については	3.0	2.0	60.2	12.9	7.5		

※未回答は除きました。

「青年の船」体験レポート

「限らない未来への創造」をメインテーマに、茨城の明日を担う青年を中国に派遣し、船内・現地研修を通して、広い視野に立ったリーダーの養成を図ることを目的に、「青年の船」が十月十三日から十一月四日まで実施されました。「青年の船」に本村から 卯月靖弘さんと岡野こずえさんの二人が参加しましたので、体験レポートを紹介します。(岡野こずえさんは次号に掲載)

私が、「青年の船」に参加しようと思った動機は三つあります。

その一つは、職業柄(酪農)外部の人たちとの接触が少ないので、地元茨城の若者と交流を深めたいと思ったこと。

次に、往復八日間の船内研修がどのようなものであるのか、強い関心があったこと。三番目は、中国から見て日本は、どう映るのかということです。

勤勉さと

実直さを手本に

中国に着いてまず感じたことは、どこへ行っても熱烈な歓迎とその笑顔です。ここに、中国の人たちの国民性を垣間見たような気がします。中国の人々の生活は質素で堅実、学習意欲が盛んです。私は、これからの人生、彼らの勤勉さと実直さを手本にしていきたいと思っています。

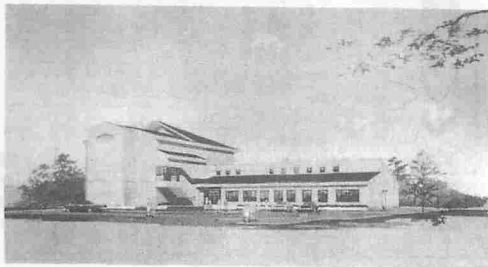
▶天安門広場

うわさには聞いていたが、トイレと自転車には驚きました。トイレには戸がありません。文化、国民気質の相違を改めて感じました。自転車は、専用道路があり、その大群は想像



農村環境改善センターの建設がスタート

▶農村環境改善センター完成図



村では、住みよい村づくりのためさまざまな環境整備を進めています。このほど、農村環境改善センターの建設がスタートしました。農村環境改善センターは、村が行っている「農村総合整備モデル

事業」により、農林水産省の補助を受けて建設されます。

この事業は、昭和五十四年度に計画され、昭和五十五年度から実施されています。この事業ではこれまでに、農道や排水路、公園の整備、防火水槽の設置など、それぞれの地域の実情に合わせた環境整備

団結 すべ



を絶するものがありません。そして、中国に来て一番すごいと思っただのは、やはり万里の長城です。紀元前四百年前に、当時の人口の五分の一という多くの入々の力で作られた長さ六千、の長城に、中国人の忍耐、中国の歴史を見たような気がしました。

船内の生活は、規律正しく行われます。私が所属したのは、五組二十五班です。そして、私は班長です。ところが、私の二十五班の名は、消灯時間が守れなかつたりで、知らず知らずのうちにならなくなってしまいました。そんな中で、帰りの船で行われた組対抗運動会で、応援を競う三分間の時間がありません。私は、応援団員ではありません。

何かをしたく 応援団に参加

何人がじっと見ていました。百元は、中国人の一月分の給料に当るそうです。日本人はぜいたくをしている、やがて中国も、日本を越える日がくる、なぜかそんな気がしました。

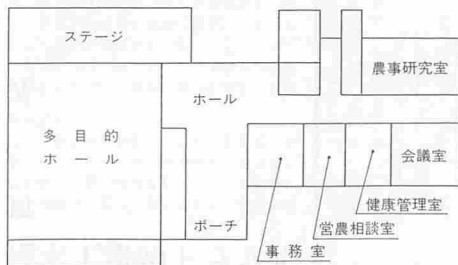
せんでしたが、なぜか応援団に参加して太鼓をたたきたいと思ひ、代わってもらいました。なぜと聞かれても分かりません。今までの自分になかった積極性が出たのでしよう。太鼓などたたいたことなどありません。でも、この「青年の船」で何かをしたかったのです。練習時間は、余りありません。もちろん、一位や二位になる自信もありません。当日は、朝五時半に起きて練習です。間違えばやり直し、また間違えばやり直しというように、何度も何度も繰り返して練習しました。いよいよ本番です。持ち時間三分間、あつという間に終ってしまいました。やることはやりました。私は、親指の皮がむけるほど知らず知らずのうちに力が入っていました。成績の発表です。第二位、五組。という言葉を聞いたときは夢のようでした。この応援で、若者が何かをしようと思ったとき、団結を強め、集中すれば何でもできる、そんな気持ちになりました。

を行ってきました。

三か年で完成の予定

環境改善センターは、中央公民館の西側に建てられ、二階構造は鉄筋コンクリート二階建てで、延べ床面積は一、二四四㎡です。改善センターの中心となるステージ付きの多目的ホールは、三百三十人が座られる移動式のすが備え付けられます。ホールの面積は二九二㎡です。

改善センターには、そのほか、農事研究室(八〇㎡)、会議室(五九㎡)、営農相談室(三五㎡)、健康管理室(三〇㎡)などが計画されています。改善センターの建設は、三年計画で行われ、総事業費は三億五千万円です。そのうち、今年度の事業費は七千三百万円、先月十一月の九日各関係者を招いて起工式が行われました。



農村環境改善センター
見取図

家族への帰属意識

親の言うことが聞けないのなら、家を出ていけ——昔はこのひと言で、「一件落着」したものです。ところが、現在では、この

家はあけるが 家出はしない

をお持ちのご両親へ

—シリーズ21—

中学生

家出は損だ——これが中学生のホンネです。自分の将来にとって、家出少年のレッテルは不利だということが分かっているのです。そこで、家にはあけるが家出はしない——無断外泊型家出ともいうスタイルが増えてきています。

中学生という年齢は、心のどこかに「家出願望」があります。第三反抗期にある子供は独立心が強まり、一人になりたい、だれからも干渉されたくないという思いを秘めています。親と口をききたくなく、顔も見たくないと思うこともあるはずですよ。

こんなとき、親子げんかのはずみで「嫌いだよこんな家居たくないよ」などと口ばしつたくなります。さて、どうしますか。

役割意識を

幼児期のうちから

お子さんが、家族の構成員としての役割意識を自覚しているかどうか。自分はこの家族の一員として、必要な存在なのだという気持を子供が持っていれば、家出は、起こらないと考えやすいでしょう。家族への帰属意識が濃いか薄いかということも、この「必要存在」であるかどうかによって左右されるのではないのでしょうか。

家族の連帯の中につなぎとめるための役割を、幼児期のうちから子供に与えてきたかどうかか。たとえ試験の真つ最中であっても、ふだんの役割、例えば、夫の散歩をきちんとさせてきたかどうか。勉強さえしてあげればよいという代わりにはいるのは、役割意識を育てる上でマイナスでしょう。



問い直される親子関係

全国大会で4位に

河内村柔道チーム



河内村の柔道チームは、一回戦靜一ムが、十一月八日三回戦長崎チームを破り、ベタ「第三五回全国青年大会」で、四次の新潟チームとの試合で位に輝きました。茨城県を代表し、四位の成績は立派です。

球技大会結果

野 球 大 会

10月5・19日、中央グラウンド他

優 勝 間場ヤンキース

準優勝 上組エコーズ

ゲートボール大会

11月9日、中央グラウンド

優 勝 下町歩チーム

準優勝 双葉チーム
(新橋・古通)

言葉遣いあれこれ

— 言い表し方編

「アンケートをする」か 「アンケートをとる」か

「アンケート」は、フランス語から来た外来語で、多くの人を対象に質問をし、回答を求める調査のことです。その調査を実施することを、「アンケートをとる」と言うのでしようか。「アンケートをする」と言うのでしようか。

最近の新聞記事の例を見ると、「アンケートした」、「アンケート調査で」などの形が多く、「アンケートをとる」、「アンケートをとる」という言い方は、話言葉で使われることが多いのではないでしようか。

「調査」の場合は、「調査をする」、「アンケートをとる」と言っても構いません。また、「アンケートをとる」という言い方は、話言葉で使われることが多いのではないでしようか。

「調査」の場合は、「調査をする」、「アンケートをとる」という言い方は、話言葉で使われることが多いのではないでしようか。



消費者質問箱

見本工事のトラブル

問 訪問販売で、「見本モデル工事で無料だから」と強く勧誘され、テラスを設置しました。しかし、後で請求書がきたので、驚いて取り外しを要求したが、応じてくれませんでした。

答 このように、見本工事にするからという販売方法は、サンルーム、太陽熱湯水器などによくみられます。

「見本工事のため無料になる」とか、「半額で取り付けられる」などと説明され、高価な商品を一銭も払わなくても取り付けてもらえるかと錯覚し、「確認のため書類にサインを」などと言われ、それが契約書であり支払い額が記入されているとも知らず、気軽に署名し、後で請求書がきて初めて高価な買い物をしたと気付く場合さえあります。

販売店に交渉しても、「そんな約束した覚えはない」などと言われ、結果的には、高い買い物となることがありますので注意しましょう。

農作業



メモ

ともいわれています。また、黒豆には、サボニンという物質が含まれていて、声帯に大変よいそうです。この黒豆のジュースは、

黒豆のジュース

黒豆というと、正月の黒豆煮が代表的な料理です。今回は、先日の産業文化祭のときも展示して評判だった、黒豆のジュースの作り方を紹介します。

羽子騎生活改善グループのアイデア作品で、茨城ふるさとまつりなどで「濃縮ジュース」「くろまめ君」として出品、好評を得ました。〈黒豆ジュースの作り方〉
材料（出来上り1リットル分）
黒豆……………1カップ
砂糖……………500グラム
水……………5.5カップ
クエン酸……………小さじ1
バナラエッセンスまたはレモン汁……………少々

- ① 黒豆は水洗いし、分量の水を加えて中火で煮る。
- ② 約20分くらい煮たら豆をざるにあげ、汁だけを取り熱いうちに砂糖を加え、溶かしておく。
- ③ 汁が冷めたら、クエン酸とバナラエッセンスを入れて出来上り。

出来上ったジュースは、四倍から五倍の水で薄めて飲みます。大人向きとして、焼酎で割るとおいしいカクテルとなります。この「くろまめ君」、河内村の新しい名物になると思います。なお、残った黒豆は、水を加えて黒豆煮に使えます。

竜ヶ崎地区農業改良普及
 公 所 ②3413

お知らせ

年 齢

二年保育—昭和五十七年四月二日から昭和五十八年四月一日の間に生まれた者
 一年保育—昭和五十六年四月二日から昭和五十七年四月一日までに生まれた者

募集期間

昭和六十一年十二月二十日から昭和六十二年一月二十日まで

申込方法

入園申込書を、第一幼稚園に提出して下さい。入園申込書は、第一幼稚園に備えてあります。

募集人員

五〇人（村内優先）

○詳しくは第一幼稚園まで
 とうろぞ（☎3589）。

はいく

書も花も静かに咲えて文化の日
 大利根にそい寝の村の文化祭
 山茶花の咲き初めし日の寂かな
 山茶花の白い日色に住みたくて
 菊の道声押しして来る竹竿屋
 猫じやらし思ひ思いに吹かかれをり
 山茶花や水のんてまた歩きたす
 山茶花の根元に捨てる犬の糞
 運枯れて天が曇れば田も曇る
 小春日や家族の布団並べ干す
 やわらかき秋の日子しに松手入れ
 月まるし黄菊白菊露地に咲く

鴻野 たけ
 平川 和風
 田中 芳雪
 鈴木 秋月
 岡田 みつ
 飯塚 まさよし
 山沢 仙峰
 田仲 白茅
 野沢 一風
 岡沢 次三門
 高橋てる江

統計調査に ご協力下さい

通商産業省では、昭和六十二年十二月三十一日現在で、昭和六十年工業統計調査を実施し、工業統計調査は、工業の国勢調査ともいえるもので毎年行われていきます。調査をお願いする事業所には、年末年始にかけて調査員がお伺いします。

また、同じく通商産業省では、製造業における石油を中心としたエネルギーの消費の実態を把握するため、石油等消費構造統計調査を実施します。調査は、従業員三十人以上の事業所が対象となります。これらの統計調査の結果は国をはじめ各種行政施策の基礎資料に利用されます。皆さんから提出された調査票は統計以外の目的には使用されませんので、よろしくご協力をお願いいたします。



ちがって注意!

圧力なべが人気を集めていますが、普通のなべと違って気圧が上るので取り扱いを誤ると危険です。

『圧力なべ』は説明書をよく読んで

圧力なべのふたを開けた瞬間爆発し、大やけどをまじたという事故がよくあります。このような事故の原因のすべては、圧力なべ内の圧力が完全に下がっていないうちに、ふたを開いたことが原因です。

圧力を下げてからふたを取ることは、ふたの閉鎖装置が重いときは、無理に開けない、というごく基本的な扱いを怠ったために生じたトラブルです。

圧力なべは、普通のなべにない利点がある反面、取り扱いを誤ると大きな事故につながるがねない製品です。圧力なべのよさをいかすためには、取扱説明書をよく読んで、十分理解した上で使って頂きたいものです。



『なべ』に あった使い方を

村長動静

11月

- 2(日) 消防ポンプ操法競技大会
- 3(月) ちびっ子相撲大会
- 5(水) 「青年の船」参加者と懇談、監査委員
歓迎会
- 6(木) 小学校球技大会
- 7(金) 保育所公開保育事業研修会
- 8(土) 戦没者追悼式、村議・農委親善野球
大会
- 9(日) 環境改善センター起工式
- 10(月) 郡消防ポンプ操法競技大会出場チー
ム結団式、ゲートボール大会
- 12(月) 教育懇談会
- 13(水) 教育厚生・教委・学校長研修視察
(～14日)
- 14(木) 農協合併推進会議
- 16(金) 生板スポーツ少年団大会
- 17(月) 行政視察(～19日)
- 20(木) 金江津小中学校道徳教育研究発表会
- 21(金) 郡消防ポンプ操法競技大会
- 22(水) P・T・A指導者研修会
- 25(火) 稲敷広域議会
- 27(木) 商工会青年部懇談会
- 28(金) 総合開発審議会、秋季バレーホール
大会(29日)
- 29(土) 寿人生大学

東京電力から お知らせ

最近、東京電力あるいは電力会社から来たと言って、トイレ用脱臭換気扇を強行に取り替え、多額の工事代金を請求する事件が多発しています。特に、お年寄りが一人で留守をしている家庭が狙われています。

東京電力では、このような機器の販売や工事はしていません。また、東京電力の職員は、勤務証を携帯しています。もし、訪問者があった場合は、勤務証の提示を求めて下さい。このような訪問を受けている場合は、すぐに東京電力までご連絡下さい。

東京電力(株)
竜ヶ崎営業所
〒251-1

江戸崎営業所
〒298-2620

年末年始のごみ し尿業務の取扱い

回覧などでもお知らせしましたが、年末年始のごみ収集業務、し尿汲み取り業務の最終日、開始日は次のとおりです。

地区	ごみ収集業務最終日	し尿汲み取り業務最終日	開始日
火曜日収集地区	12月23日	12月22日	12月24日
水曜日収集地区	12月24日	12月23日	12月25日
木曜日収集地区	12月25日	12月24日	12月26日
金曜日収集地区	12月26日	12月25日	12月27日
土曜日収集地区	12月27日	12月26日	12月28日
日曜日収集地区	12月28日	12月27日	12月29日

休日診療当番医

地区	当番医	電話番号
江戸崎地区 (市外局番0298)	竹尾医院は市外局番なし	
稲敷病院	稲敷病院	☎1543
12月21日	竹尾医院	☎2436
12月22日	本橋(准)二医院	☎2308
12月23日	坂本(美)	☎2627
12月24日	和田医院	☎2412
12月25日	坂本(隆)	☎2232
12月26日	宇津木医院	☎2307
12月27日	渡辺医院(内科)	☎0018
12月28日	五十嵐医院(外科)	☎0936
12月29日	根本医院(内科)	☎3155
12月30日	石川病院(外科)	☎0378
12月31日	吉沢医院(内科)	☎0977
	野村病院(外科)	☎6561
	◎診療は、午前九時から午後四時までです。都合により、当番医の変更もあります。診療を受ける時は、必ず事前に電話で確かめて下さい。	
	なお、診療は原則として当番医の宅診となっています。	

61年度交通安全功労者 細谷よしのゑが表彰

河内村の交通安全母の会の会長として活躍している細谷よしのゑさんが、このほど、竹内知事から、34年の長年にわたり交通安全の諸活動に功労があったと、交通安全功労者として表彰されました。

事故を呼ぶ酒は飲むまい 飲ますまい

― 年末年始の交通事故防止県民運動実施中 ―

スキーツアー

大募集

61年2月8日から9日



白銀の世界に 青春のシユプールを

河内村青年会とスキータラプでは、次のとおりスキーツアーを行います。初めての方でも、ベテラン会員が親切に指導します。奮って参加下さい。

定員 四五人
申し込みは、一月十四日までに中央公民館（電話2843）までどうぞ

なお、定員になり次第締め切りますので、申し込みはお早めに
日程 62年2月8日・9日
場所 草津スキー場
会費 一四、〇〇〇（食付き）



ナンテン

メキ料の常緑低木で、東海地方より西の本州、四国、九州の暖かい林の中に自生しています。また、中国、インドなどにも分布しています。四月から六月にかけて、白色の多数の花がふさの状態に開き、生花の材料や庭木として普通用いられます。冬ざれた庭のナンテンの赤い実は、風情があります。また、雪の積もった庭の実は、赤が映えます。

今月の納税

固定資産税	3期
国民健康保険税	5期
国民年金保険料	5期

交通事故の提言

生牧小学校五年生
大柳 忠実君さん



No. 68

交通事故をなくそう

私は、小学校一年生のとき車にひかれそうになったことがあります。

家の庭から道へ出ようとしたとき、車が来て、ぶつかりそうになったのです。そのときは、びっくり車にぶつかわないと思い、何かだかわからないような気がしました。車にひかれそうになった原因は、私が、左右の確認をしなかつたからです。そのことを思い出すと、むねがドキドキします。

左右の確認をしていれば、車にぶつかるということはありません。私にも二度とこんなことのないように気をつけたいと思います。みなさんも、交通事故がなくなるように心がけましょう。